

抗核抗体高値クライアントに対する サポートティンクチャーを用いた ホメオパシー的アプローチ

日本ホメオパシーセンター熱海伊豆山
JPHMA認定ホメオパスNo.357
ZENメソッド修得認定No.0259
増田 敬子

主訴

- クライアント: 70歳・女性

- 主訴:

抗核抗体の数値がここ数年で徐々に高くなっているためホメオパシーで対処したい

症状

- 抗核抗体に結び付く病気の自覚症状はない
- 体が重い
- 病気に対する不安
- 目のふちが赤くかゆい
- 鼻水や痰があり鼻が重く感じる

抗核抗体とは

- 抗核抗体は、細胞の核に結合する自己抗体の総称
- 自己免疫疾患（膠原病や関節リウマチ^{など}）の診断に用いられる
- 健常な人でも陽性になることがある
 - 40倍以下の陽性率は20～30%
 - 80倍以下の陽性率は10～12%
 - 160倍以下の陽性率は5%
 - 320倍以下の陽性率は3%

タイムライン

子供の頃 肺炎に何回かなる、虫垂炎で手術

21歳 結婚(主人の勤務で神奈川県) 長男出産

25歳 長女出産

30歳 腎盂炎(2回)、風邪のウイルスが甲状腺に入る

34歳 単身赴任の夫が生活費を入れなくなり協議離婚

42歳 再婚

51歳 更年期障害

64歳 兄が悪性リンパ腫で死亡

抗核抗体値160倍→あらゆる検査で異常なし

67歳 抗核抗体値320倍→他に異常なし

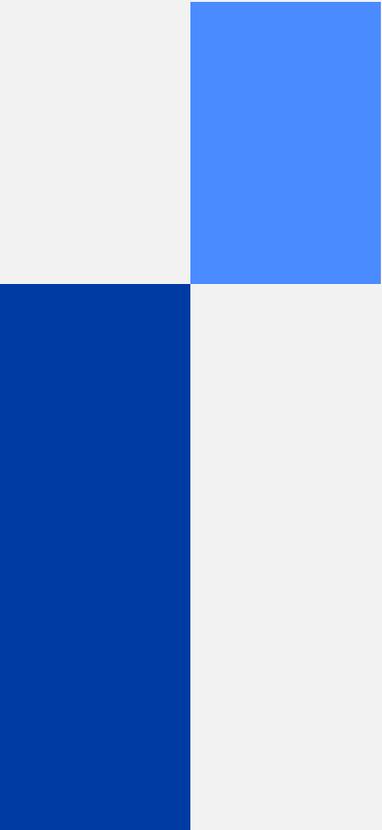
68-69歳 コロナの予防接種計3回 抗核抗体値1280倍
→他の症状なく他の検査も異常なし

家系の病歴

- 母：胃潰瘍、胃がん
- 父：高血圧、脳梗塞
- 母母：心臓
- 母父：心臓
- 父母：不明
- 父父：高血圧
- 兄：悪性リンパ腫
- 息子：肺気腫
- 娘：子宮頸がん

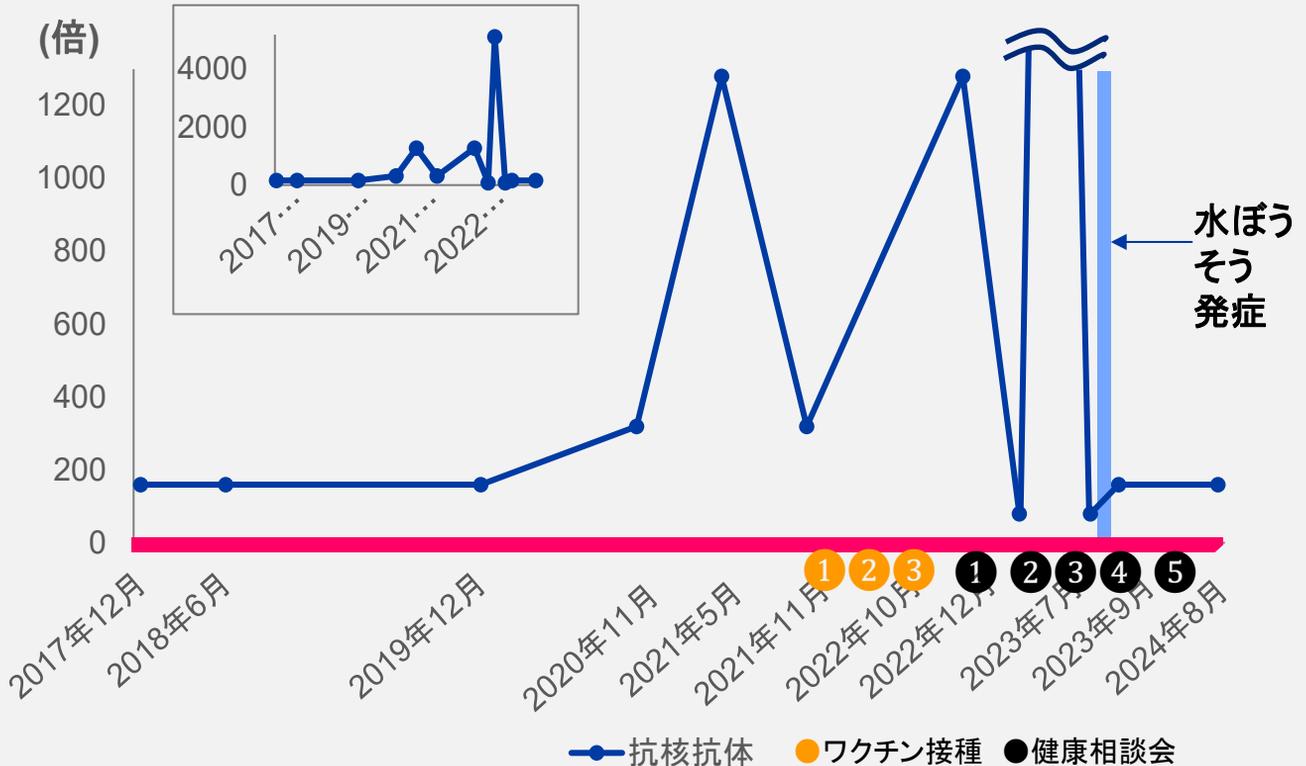
ショック・辛かったこと

- 兄の悪性リンパ腫発症、その後死亡
- 娘の子宮頸がん発症
- 子どもの頃、父の弟家族（5人）と私達家族（6人）で生活しているとき、父の弟の酒癖が悪く時々兄弟喧嘩になり、父の弟が包丁を振り回し暴れ、子供達が泣いていた（住まいが別になってからは兄弟喧嘩もなく、毎日「兄貴兄貴」と家に来ていた）

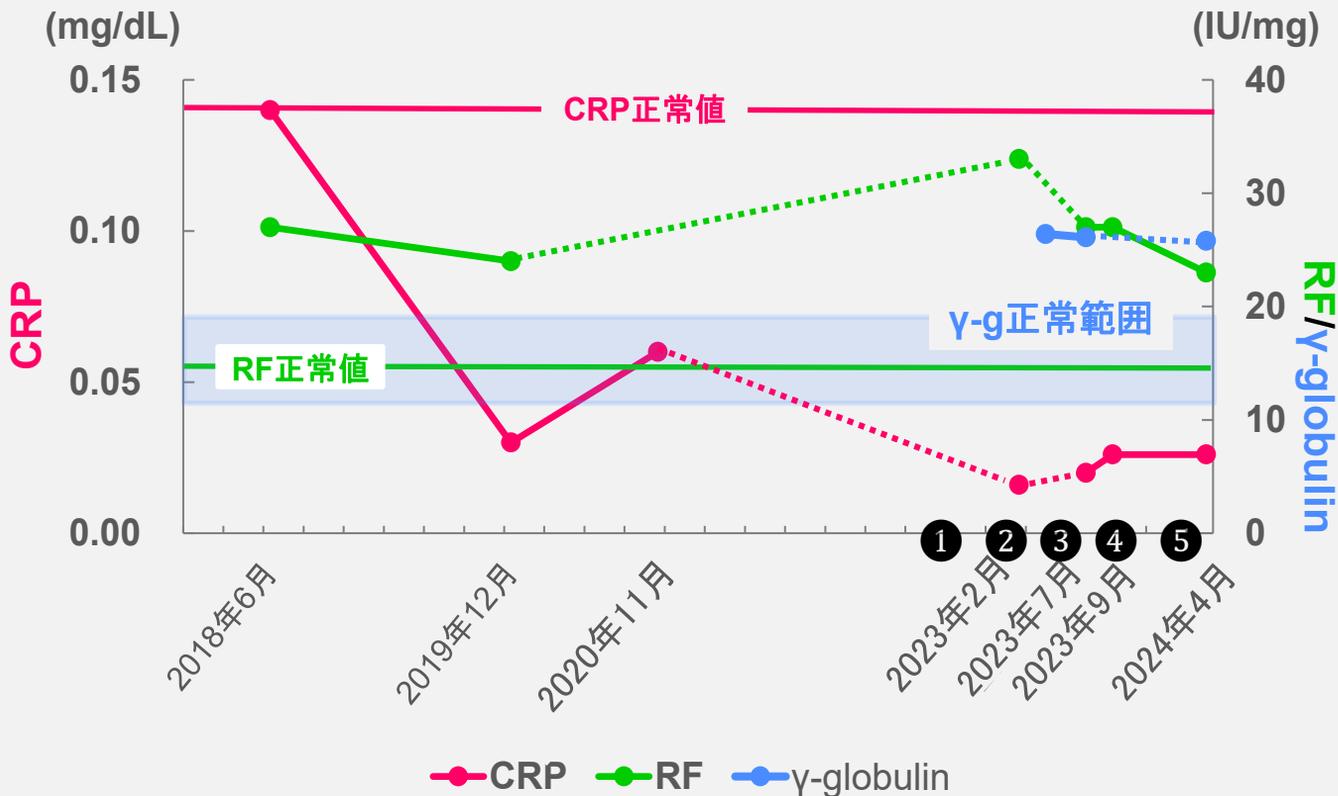


結果

抗核抗体の変化



CRP・RF・ γ -globulinの変化



相談会_3回目 (2023/4/28)

2080# 麻酔薬・睡眠薬・麻薬による

1747# 不安(恐れおよび恐怖も)から

815# めまい(目がくらむ)

1861# 頭の向きを変える

823# 目覚める - しばしば夜間に

1848# 曲げる(または向きを変える、ねじる、
回転させる)ことによって

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6
1	Bell.	6	19	4	3	4	3	2	3
2	Puls.	6	18	3	4	3	3	4	1
3	Nux-v.	6	18	4	3	4	3	3	1
4	Rhus.	6	16	2	1	4	3	3	3
5	Bry.	6	15	2	2	3	3	2	3
6	Calc.	6	15	1	1	4	4	4	1
7	Ign.	6	14	1	4	2	3	3	1

レメディ―選択_3回目 (2023/4/28)

随時 MT) S-Coron-V-DNA

(現 MTサポート免疫スーパープレート)

+Kali-m.9X +Ferr-p.9X +Calc-p.9X

+lizun-w.6C +Oyamaz-w.6C

(免疫力、睡眠障害、炎症、粘液分泌)

朝 Carb-v. LM3 (酸素・エネルギー不足)

昼 Tub-b. LM4 (炎症、粘液分泌、やせ)

夜 Bry. LM5 (めまい、夜中目が覚める、<寝返り、>同じ体制でじっとしている)

使用したMT)サポートφとレメディ

相談会	MT)サポートφ	主なレメディ
1回目	MT)S-Coron-V-DNA (現 MTサポート免疫スーパーグレート) 1280→80	Caust, Canth
2回目	MT)サポート免疫-ミドル	Sil, Lyc
3回目	MT)S-Coron-V-DNA (現 MTサポート免疫スーパーグレート) 5120→80	Carb-v, Bry
4回目	MT)S-Cho-sai-n (現 MTサポート腸) MT)サポートグルタチ	Plat, Nux-v
5回目	MT)サポート粘膜	Plat, Staph

考察

抗核抗体の数値が高くなる原因として、①自己免疫疾患、②感染症、③薬剤、④加齢などが考えられている。抗核抗体に関連するあらゆる検査(唾液・血液・CT・眼科)を行ったが異常は見つからなかった。医師からは、抗核抗体の数値を下げる治療法はないため数値を下げることはできないと言われた。しかし、症状に合わせてホメオパシーのサポートティンクチャーやレメディーを使用したところ、数値が下がったことから、これらが抗核抗体の数値に影響を与えていることが示唆された。今後も継続してサポートしていきたい。

ご清聴ありがとうございました。

増田 敬子(ますだ たかこ)
日本ホメオパシーセンター熱海伊豆山
[https://gokigenkan.com/
yix04775@gmail.com](https://gokigenkan.com/yix04775@gmail.com)